

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	950 駐車場事業費	会計	07	駐車場事業特別会計
		款	01	駐車場事業費
		項	01	駐車場事業費
基本 施策	66 文化・スポーツ施設などの公共施設を利用しやすくする	目	01	駐車場事業費
		細目	517	駐車場事業費
行革大綱の重点事項番号		細々目	01	駐車場事業費
担当部課	コード	600100		担当者 氏名
	名称	島ヶ原支所 振興課		
		連絡先	59 - 2053 (内線) 43	

### 事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	島ヶ原駅利用者及び観光客	※対象件数
成果(どうする)	JR通勤者や通学者の駐車する場を提供することにより、利便性と関西線の利用促進ができる。	
根拠法令・要綱等	伊賀市駐車場条例	
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業 内容	駐車場の管理運営 駐車使用料の徴収事務	
社会情勢 の変化等	平成19年度に、月極使用料の改正を行い、施設の効率的な運営と適正な維持管理に努めている。	

#### 整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

#### 運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	指定管理
委託先	島ヶ原勤労者協議会
2 配置人員	1人
3 年間運営費	2,444 千円
4 市内の 類似施設	市営駐車場

### 事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動 指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
	月極駐車利用台数(年間)	台	目標 786	目標 719	852	852
			実績 786	実績 719		
	一日駐車利用台数(年間)	台	目標 1902	目標 1677	1932	1932
			実績 1902	実績 1677		

成果 指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
	使用料収入	利用促進	千円	目標 2365	目標 2088	2544	2544
				実績 2365	実績 2088		
				目標	目標		
				実績	実績		

投入 コスト	H20 決算	H21 決算	H22 当初予算	H23 当初要求	
					(千円)
直接事業費計 (A)	2,383	2,543	2,544	2,544	
A の 財 源 内 訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	0	0		
	一般財源	2,383	2,543	2,544	2,544
事業投入人件費 (B)	0.1人 720	0.1人 720	0.1人 720	0.1人 720	
フルコスト(A)+(B)	3,103	3,263	3,264	3,264	

### 事務事業の評価 (Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	○
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。 基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高 サービス水準や対象を見直す余地がある。	○
達成度	当初設定した計画を <b>100%</b> 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善策】 予算の繰越の有無 <b>無</b> 【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。 基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 【事業名】 受益者負担を求めることができる事業である。 全体コストにおける負担構成は適正である。 コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	○

#### 昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	駅周辺の環境美化や放置車両対策等防犯対策にも積極的に取り組む。
昨年度の 取組状況	【状況】 <b>計画のとおり進んでいる</b> 【詳細】 指定管理者である島ヶ原勤労者協議会は、駐車場の管理業務はもちろんのこと、駅周辺の花壇の整備や放置自転車対策にも取り組み、伊賀市の西の玄関口として観光イメージの向上等まちづくりに貢献している。

### 今後の方向性 (Action)

担当課長氏名	増永 由美
事業の方向性	【方向性】 <b>現状維持</b> 【理由】 JR関西本線の利用促進にも必要な施設であり、通勤者等の利便性を高め、施設の効率的な運営と適正な維持管理に努める。
現時点における 課題、その他	利用者数はほぼ横ばいであり、自家用車による通勤者が多くなってきていることから、PR活動を実施し利用者の増加に努める。
課題、その他に 対する改善策 (いつまでに、何を、どうする)	引き続き指定管理を委託して、施設の効率的な運営と適正な維持管理に努める。